

1章 正の数・負の数にチャレンジ ()組()番 名前()

■0より小さい数

○ +3や+7.5のような0より大きい数を(**正の数**)という。

「+」(プラス)を(**正の符号**)という。

○ -2や-4.8のような0より小さい数を(**負の数**)という。

「-」(マイナス)を(**負の符号**)という。

正の数の表し方

・ 0より3大きい数	→	$\frac{+3}{-}$
・ 0より1.8大きい数	→	$\frac{+1.8}{-}$
・ 0より $\frac{4}{7}$ 大きい数	→	$\frac{+\frac{4}{7}}{-}$

負の数の表し方

・ 0より5小さい数	→	$\frac{-5}{-}$
・ 0より10.5小さい数	→	$\frac{-10.5}{-}$
・ 0より $\frac{1}{4}$ 小さい数	→	$\frac{-\frac{1}{4}}{-}$

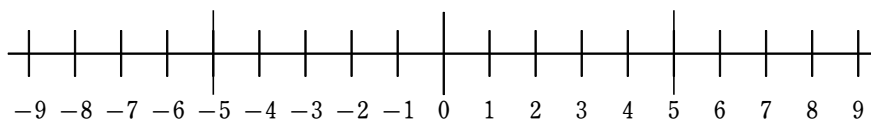
○整数には、(**正の整数**), (**0**), (**負の整数**)がある。

(**整数**)

$\dots, -3, -2, -1, 0,$	$+1, +2, +3, \dots$
(負の整数)	(正の整数)
	(自然数)

※0は正の整数(自然数)でも負の整数でもない。

■数直線



数直線では、0より大きい数は0から(**右**)の方に

0より小さい数は0から(**左**)の方に表す。

■ 正の数・負の数で量を表すこと

例1 5000 円の収入を、+5000 円で表すとき、
4000 円の支出は、-4000 円と表される。

例2 ある地点から 2 km 東の地点を、+2 km で表すと、
ある地点から 3.5 km 西の地点は、-3.5 km と表される。

例3 ある工場では、製品の 1 日の生産目標を 200 個と決めています。ある週の月曜日
から金曜日までの生産数は、下の表のようになりました。
この表の空欄をうめなさい。

曜日	月	火	水	木	金
生産数(個)	210	195	203	193	200
目標(200 個)との違い	+10	-5	+3	-7	0

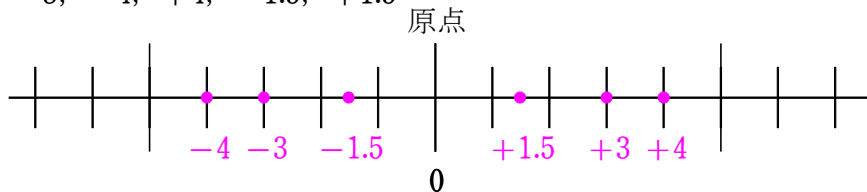
反対の性質を持つ量は、例えば、「多い」、「少ない」のように、2 つのことばを使っ
て表しますが、負の数を使うと、その一方のことばだけで表すことができます。

5 個少ない …… -5 個 多い

■ 絶対値と数の大小

◎ 次の数を、下の数直線上に表しましょう。

+3, -3, -4, +4, -1.5, +1.5



※ +3 に対して -3、-4 に対して +4 のように、+、- の符号を
とりかえた数をつくることを、(符号を変える) という。

※(絶対値) … 数直線上で、0 からある数までの距離
(原点)

数の大小

正の数は 0 より大きく、負の数は 0 より小さい。

- ・正の数は、その数の絶対値が大きいほど、(大きい) 。
- ・負の数は、その数の絶対値が大きいほど、(小さい) 。

① 次の2数のうち、大きい数はどちらですか。

また、絶対値が大きい数はどちらですか。

① -4 と 3

大きい数... 3

絶対値が大きい数... -4

② -5 と -2

大きい数... -2

絶対値が大きい数... -5

② 次の□に不等号を書き入れて、2数の大小を表しなさい。

① 4 □ 5

② -3 □ -7

③ -1.6 □ -0.6

④ $-\frac{3}{8}$ □ $-\frac{5}{8}$

3つの数の大小も、不等号を使って表すことができます。

例えば、-4, 2, -2の大小は、

-4 < -2 < 2 と表す。

③ 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

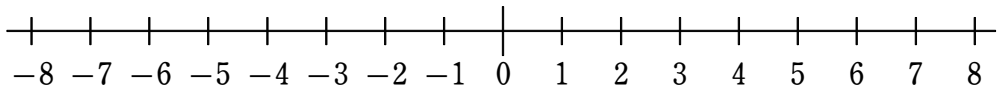
① -6, -9

② 0, -1, -5

-6 > -9

-5 < -1 < 0

④ 次の数直線を使って、次の数を求めなさい。



① -5より3大きい数

② -3より5大きい数

③ 3より6小さい数

-2

2

-3

④ -1より4小さい数

⑤ 1より-4大きい数

⑥ -1より-3大きい数

-5

-3 4小さい

-4 3小さい

⑦ 2より-3小さい数

⑧ -4より-8小さい数

5 3大きい

4 8大きい

数学の課題について

- 教科書のP.12～P.22を参考がんばってチャレンジしてみよう！
- プリントを終えたら、練習で問題を解く場合は P.12～P.22の問○や練習問題を解いてみよう！
- 授業が始まったときに困らないように、がんばって取り組んでくださいね。